

【所属名：環境生活課】

【会議名：第4回糸魚川市環境審議会】

## 会 議 録

作成日 平成26年3月10日

日	平成26年3月6日	時間	13:30 ~ 15:30	場所	本庁201・202会議室
件名	議題 糸魚川市新エネルギービジョン（案）について 環境基本計画PDC A進行管理について (公開)				
出席者	【出席者】 12人 佐藤委員、鷺澤委員、磯貝委員、小笠原委員、小野委員、黒崎委員、腰越委員 笹川委員、杉野委員、山岸委員、山本委員、吉田委員 【欠席者】 2人 恩田委員、田村委員 【事務局】 吉岡部長、渡辺課長、高野係長、小熊主査				
	傍聴者定員		人	傍聴者数	3人

### 会議要旨

1 開会	進行 渡辺課長
2 会長あいさつ	佐藤会長
3 議事	
《主な質疑・意見》	
・糸魚川市新エネルギービジョン（案）について	
【委員】	中小規模の水力発電とは、どの程度の規模を言うのか。イメージが湧かない。
【事務局】	いろいろな規模の定義があるが、このビジョンの中では新エネ法で規定している1,000KW以下に限ると想定している。1,000KWでもかなりの規模だが、極小さいものからその程度まで。
【委員】	今井で、個人で側溝程度の川で小水力発電をやっていたと思うが、情報ないか。
【事務局】	情報を持っていない。参考までに、市で持っているものは1kw程度のものしかない。県で行った中川原用水についても2.4kwという小さいもの。来年の調査結果にもよるが、それほど大きなものはできないのではないかと想定している。 それもあり、ビジョン記載の事例も少し小さめのものに変更させていただいた。
【委員】	46ページ記載の、太陽光発電補助。個人への補助はわかるが、事業者に対する補助は、売買でなく自分で使うレベルという設定か。
【事務局】	事業者への補助は今もないし、想定もしていない。この記載は、作成時に消し忘れ

たもので削除願いたい。

**【委員】** 事業者で太陽熱を利用しようという所はあるか？

**【事務局】** 具体的にはない。太陽熱は技術的に古く、安定的に動くこともあり、導入しやすい。市の宣伝がうまくいっていないが、お湯を多く使う事業者には有利になる。糸魚川市では太陽光発電は事業者としてあまり取り組めない。工場空地などもあるが冬場のことを考えると難しい。自然エネルギーとしての使い道はあるが、日本中がやってしまうと採算が合わない。水力などに力を入れていった方がいいと思う。市としてそちらに力を入れていくべき。太陽光に頼りすぎている。糸魚川では企業も水力発電に取り組んでいる。

**【委員】** 行政として小水力発電にスライドしていく政策が必要と考えている。

**【事務局】** 市としては実用化に近いものからやっていきたい。中小水力として利用する場所が市内にあるのかという調査をする。太陽熱も周知が悪いところもあるが、ボイラー等での利用は効果がある。周知していきたい。今回は実用化に近いものから中心に計画づくりをしていきたい。

**【委員】** 小規模発電のイメージがわからない。海川の発電規模ほどの程度か。

**【事務局】** 情報を持ち合わせていない。

**【事務局】** 行政は調査をし、パイロット的な事業も場合によっては取り組む。実際の設置については民間にやってもらい、どういう支援をしていくかということ。まずは調査を重点的に考えてほしい。

**【委員】** ダムを持っているところは、揚水発電をしている、電化社のセメントミルなどは夜間電力を使っている。親不知みたいな場所で夜間電力で海水を汲み上げる方法もあるのでないか。

**【事務局】** 大きな問題は周囲の環境に影響を与える恐れがあることと、送電ロスの恐れがあり、大規模な発電所の近くで急峻な地形がある場所で揚水発電は行われている。当市ではダム設置の問題などもあり、なかなか取り組まれていない。将来の技術革新で可能性が出れば取り組んでいきたい。

**【委員】** 調査ということなら、20～30年先の人口動態と照らし合わせ実施してほしい。過疎化していけばいくほど、自然エネルギーの利用場所は増えてくると感じている。そういったことも考えながら調査してほしい。

**【事務局】** 過疎により、耕作放棄が出て植林をすることが想定される。この10年の計画にはそこまで想定していないが必要と感じている。自然エネルギーの採算性も重要。水力や地熱の調査をあげているが、他のものも利用可能性に合わせて盛り込んでいければ入りたい。

【委員】 スギ花粉の問題もあり、そういう植林の方法なども考えていってほしい。  
【事務局】 林業がほとんど個人経営で、なかなか産業としてうまくいっていない。ペレットにしても他の林産物の栽培を組み合わせないと難しい。そういう事情からこの計画に盛り込めていない。

【委員】 午前中の視察でも、原木を手に入れるのも難しいと言っていたが、不要なものを利用してはすぐに枯渇し、先が見えている。そこまで考えないと立ち消えになる。

【事務局】 本来の森林経営では、製品としての原木を切り、また新しいものを植えるというのが本来の考え方。まずは間伐等で森林に目を向ける取り組みを行っている。自己資金を出してまでやっていただくのは難しいため、自己資金がなくても、木を切り出せるところまで持っていくのが、この取り組み。今まで捨てていたものを金に換え森林経営の循環ができるような試み。当然、木材は建築資材などとし、その他の捨てていたものを利用していく。商工農林水産課や新潟県と連携し進めていきたい。

【委員】 アンケートの作成は意図的にできるが、調査についても同じことで、やらない前提の調査の方法もあるが、本当に可能なのかという目で見てもらい調査を進めてほしい。起業してまでもできるのかという視点で見てほしい。大学との連携もいい。

【事務局】 やって見ないとわからないが、小水力でも事業化し長期的に採算が合う場所が糸魚川市にないかということを中心に調査していきたい。県でも研究会などを設置している。そういうものに参加して新しいエネルギーを活用していきたい。

#### ・環境基本計画P D C A進行管理について

【委員】 ジオパーク学習のための副読本は、わかりやすい内容になっている。学校以外に図書館などで市民の目に振れる場所に配っているか。

【事務局】 一部は販売しているが、学校配布のみのものもある。学校主体でやっているが、市民周知の提案をいただいたので検討する。

【委員】 有料でもいい。同級会等で配ることもできる。

【事務局】 増刷部数によっては有料斡旋も考えられる。

【委員】 3ページ、「まなそばーよ」という名称は何か。

【事務局】 夏休みの自由研究の素材。「学ぶ」と「遊ぶ」の視点を合わせたもの。

【委員】 啓発活動という言葉があるが、主体だけが理解していて、実践側が理解できないと困るので、その辺を考慮して進めていただきたい。

【事務局】 いくつかの項目でも啓発するとあるので、わかりやすいもので進めていきたい。

【委員】 ペレット関連だが、森林の間伐実施面積が 82ha から 115ha ということで、前年度比 40%位増えている。ほかの政策から見れば評価ができる。もっとよい評価をしていかないといけない。

【事務局】 目標が高い中での経過だったので、消極的な記載となった。ここはもう少し良い表記をしていきたい。

【委員】 米粉パンの実態は。週に何回あるのか。味がうまいという評価はあるか

【事務局】 月に 1 回が米粉パンで、他は米飯給食など。味だけで言えば、大手メーカーの方が食べなれているせいか、いろいろな評価がある。

【委員】 酵母と小麦粉だけで作るパンの評価が上がっている。米粉は出遅れているかなという感がある。

【委員】 エコということで、エアコンをつけずに頑張ったが、窓を開けていると、家庭菜園の草刈り機が大きな音がしていた。休みの日なので朝と夕方は声をかけてもらいたいと話したら、お婆ちゃんが怒っていた。広報等で周知してもらえないか。

【委員】 PM2.5 への注意喚起されたが、いつ、どのような方法だったか。

【事務局】 8 時少し過ぎに、安心メール、その後に広報無線で周知。学校や高齢者施設など、市の関係する施設には直接担当課から連絡した。

【委員】 12 ページのリサイクル率、24 年から 25 年に 3%の落ち込みがある。一般的にはこのような変化は少ないかと思うが何か原因はあったのか。

【事務局】 リサイクル率とごみ減量の関係は、今、分析しているところだが、市全体ではごみ量が減っているが、減り方の比率が違うことが影響している。全体的には、ごみ量もリサイクル量も減少していて。その比率が若干の上下を伴うものと考えている。

【委員】 電動生ごみ処理機 158 台ということだが、家族構成はどうなっているか。

【事務局】 購入家庭数としての統計になっている。アンケート調査では高齢の方が多いという結果が出ている。

【委員】 住宅用太陽光発電設備設置個所数が目標を上回っていて、非常に良い状態だが、その辺を本年度の評価としてきちんと載せていかないといけない。あわせて、この補助制度を有効に活用していきたいというような表記も必要。

【委員】 教職員資質・指導力向上事業と書いてあるが、資質の向上はあったのか。

【事務局】 ジオパークという観点から、各地域から来ておられる先生にジオパークを知っていただく事業。

【委員】 事業名が少し気分を害する言葉に感じる。

【事務局】 少ない言葉で、事業を表現したもので、資質がないような意味での表現でない。

【委員】 PDCA の目標値で達成度が低いものをそのままにしておくのはどうかと思う。

【事務局】 今回は実績を説明する場として、次回の来年度当初に、その部分をご論議いただきたい。下方修正については10年間の目標の中間5年間なので、それまでは目標としていきたいと考えている。

4 その他

5 閉会 鷲澤副会長